

「波賀町歌」

作詞／島田陽子
作曲／加納光記
コーラス／大阪放送合唱団

一 はるかにつらなる 山なみに
緑のいぶき みちあふれ
ゆたかな恵み うけるまち
あゝ ふるさと 波賀町
四季のよるこび うたいつつ
はげむ笑顔が 夢を呼ぶ

二 大きくひらける 攝保川^{がわ}
うまれるところ 谷清く
正史^{せいし}にその名 のこるまち
あゝ ふるさと 波賀町
遠い祖先を しのびつつ
結ぶ人の和 虹を呼ぶ

三 静かなみずうみ 青い空
ほほえむ花に 風光り
希望の道が つづくまち
あゝ ふるさと 波賀町
理想のあしたを 見つめつつ
すすむ若さが 幸を呼ぶ

「波賀音頭」

作詞／島田陽子
作曲／加納光記
唄／嶺よう子

一 ハア
だれが立てたか みどりの屏風
なかで高いは 氷の山^{サテ}
杉やヒノキが つまさき立ちで
のぞきやとなりも 青い山
※ ホンに 波賀町 住みよいまちよ
（浮世忘れる よいところ よいところ）

二 ハア
姫路 鳥取 結んだ国道が
川によりそい ひた走る サテ
川は引原 ヒラベとアユが
ダムにせかれた 瀬におどる
（以下同じ）

三 ハア
君と走れば ベダルも軽い
サイクリングに はずむ声 サテ
風も涼しや 不動の滝は
男滝 女滝の仲のよさ

四 ハア
紅葉燃えたつ 赤西^{あかみ} 音水^{おんみづ}
谷をうずめる 綾錦^{あやにしき} サテ
冬は戸倉よ スキーと樹氷
招く湯けむり 君を待つ

五 ハア
守りつたえる チャンチャコ踊り
しじまゆかしい お城跡^{おしろい} サテ
古い歴史に 菊の香そえて
伸びよ 栄えよ 若い町

「湖底の笛」

作詞／岡本夢村
作曲／酒井喜久男
編曲／齊藤恒夫
振付／幸村ひろ子
歌／柿本里美

一 ワラビ折した 思い出は
赤い夕日の もみじ谷
落ちゆく平家の 唄悲し
遠き昔ぞ しのばるる

二 風がもてくる 笛の音よ
青き山々 ふるさとの
俺がワラ家も 湖^{うみ}の底
語ればつきぬ 村の人

三 指さす彼方 さざなみの
引原の里 今いすこ
峠越えれば 因幡路^{いなばじ}へ
追われし人よ 跡あわれ